



発行：忍びの里伊賀甲賀忍者協議会

自転車のルール

自転車安全利用五則

・自転車は、車道が原則、歩道は例外



右記の標識等があるときや、13歳未満・70歳以上・身体の不自由な人が自転車乗車中のみ、歩道を通行できます。

・車道は左側を通行

路側帯（白線の外側）も左側通行です。

・歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道を通行できる場合も徐行（すぐに停まれる速度）し、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。



・安全ルールを守る

・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
・夜間はライトを点灯
・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認



・子どもはヘルメットを着用

子どもは体の重心も不安定で、転倒した時、頭部に重大なダメージを受けることがあります。

※滋賀県・三重県で自転車に乗る際には、自転車保険の加入が義務付けられています。

忍びの里サイクリングマップ

発行：忍びの里伊賀甲賀忍者協議会 令和3年12月

甲賀市産業経済部 観光企画推進課
〒528-8502 甲賀市水口町水口 6053番地
TEL: 0748-69-2190

伊賀市産業振興部観光戦略課
〒518-8501 三重県伊賀市四十九町 3184番地
TEL: 0595-22-9670



甲賀忍びの里 東海道・柏街道周回

東海道の宿場に忍者にまつわる史跡。甲賀の魅力を詰め込んだフラットなコース

距離：37.5km
所要時間：3時間0分
獲得標高：242m
レベル：初級
[QRコード](#)
[コース詳細](#)

JR 甲賀駅を発着点に、甲賀市の忍者にまつわる史跡を東海道と柏街道でつなぐコース。序盤の見どころは伊賀・甲賀流忍術でも使われるさまざまな薬について学べる甲賀市くすり学習館や国の重要文化財の本殿が残る甲賀の総社・油日神社。さらに田園地帯を抜け、東海道水口宿へ。このあたりは古い町屋が所々にあり、飲食店で休憩や補給もできる。東海道から柏街道へ至る区間は路地が多く、迷い道注意。柏川沿いのサイクリングロードは歩行者・自転車専用だが、路面が所々荒れているので気をつけて走ろう。終盤の見どころは、柏川神社のひとつに挙げられる矢川神社。六角堂を過ぎて柏街道を東進すればフィニッシュは近い。



甲賀市くすり学習館

山伏たちが諸国に配札の際に、土産として持ち歩いたのが甲賀壳薬の起源と伝わる。甲賀・伊賀流忍術の中に、火薬の製法や薬に関する記述が多いのも、山伏の薬草の技術、知識が活かされたものであり、今日の配置壳薬の礎となった。



油日神社

甲賀衆たちが崇敬した甲賀の総社。油の火の神として信仰を集めてきた。境内には国の重要文化財に指定されている本殿、拝殿、楼門、東・西回廊などがあり、また、映画や連続テレビ小説、大河ドラマの撮影にも使用されている。

大鳥神社

村々の鎮守の社は忍者たちの合議の場であった。一族の結束は強く、「みんなで集まり、話し合いを決める」とこそが忍者の里の「徒」だった。大鳥神社は、この地の甲賀衆大原氏の氏神。

矢川神社

元亀元年（1570）矢川神社の門前で、甲賀衆の自治組織である甲賀郡中忍によって、争いごとの解決が行われた。矢川神社は甲賀衆の合議の場であり、集会場でもあった。

旧東海道水口宿（からくり時計）

江戸時代、東海道 50 番目の宿場として栄えた水口宿。三本の並行した道が特徴的な「三筋の町」で、構成文化財でもある水口岡山城の城下町として栄えた。シンボルである水口祭の曳山を模した、からくり時計も設置されている。

矢川神社楼門

元亀元年（1570）矢川神社の門前で、甲賀衆の自治組織である甲賀郡中忍によって、争いごとの解決が行われた。矢川神社は甲賀衆の合議の場であり、集会場でもあった。



伊賀流忍術の里大周回

伊賀の城下町や忍者の里を巡る、アップダウン多め、激坂ありのハードコース

距離：71.8km
所要時間：6時間20分
獲得標高：1147m
レベル：上級
[QRコード](#)
[コース詳細](#)

伊賀の忍びの里をぐるっと回る 70km 超、獲得標高 1100m 強の健脚向けコース。史跡上野城跡をスタートし、市街地を東進。敢国神社を過ぎ、伊賀街道を経てコリドールロードを南下すると、急な登りと下りを繰り返すジェットコースターのような地形に。コース随一の見どころ・千方窟への上りは、距離は短いがかなりの激坂。心して挑もう。ソニック像を過ぎ、しばらく上ったあと、下りながら麓の町を見下ろす絶景ポイントがある。終盤は交通量も多めなので安全第一で。鍵屋の辻を経て伊賀の城下町へ入ると、忍者のだまし絵やモニュメントが至るところで出迎えてくれる。



史跡上野城跡

上野城跡には、かつては平楽寺という寺院があり、織田信長の侵攻時には伊賀衆の評定軍議が行われた場所で、今も五輪塔や石仏などを見ることができる。



伊賀流忍者博物館（伊賀流忍者屋敷）

昭和 36 年（1961）に伊賀市高山から農家住宅を移築・改築した。忍者資料の展示のほか、忍者屋敷らしい仕掛け・からくりの実演をたのしむことができる。



敢国神社

伊賀三大上忍の一つ、服部家が「黒党祭」を行った神社。伊賀國一之宮でもあり、伊賀衆の結集の場であった。



百地砦跡

戦国時代には有力な土豪であった伊賀三大上忍の一人、百地丹波守の居城。三方土塁の主郭を中心に小郭や出丸（張り出しで設けられた場所）などが残る。東西約 250m、南北約 60m で、市内でも有数の規模である。



千賀地城跡

『太平記』に登場する藤原千賀將軍は、金鬼・風鬼・水鬼・隠行鬼の四鬼を使って朝廷に反乱を起こそうとしたが、成敗されたと伝えられる。四鬼の姿は修驗者と通じるものがあり、忍者の原型ともされている。



日本遺産構成文化財



忍びの里サイクリングマップ

発行：忍びの里伊賀甲賀忍者協議会 令和3年12月

甲賀市産業経済部 観光企画推進課
〒528-8502 甲賀市水口町水口 6053番地
TEL: 0748-69-2190

伊賀市産業振興部観光戦略課
〒518-8501 三重県伊賀市四十九町 3184番地
TEL: 0595-22-9670

本紙は令和3（2021）年度文化資源活用事業費補助金（文化遺産観光拠点充実事業）により作成したもの。

忍びの里 伊賀・甲賀

— リアル忍者を求めて —

伊賀市と甲賀市には「リアルな忍者」を感じられる魅力ある里の文化や伝統があります。今や世界中の多くの人々が忍者に魅せられていますが、その本当の姿はあまり知られていません。伊賀や甲賀では、今も里山には戦国時代を感じる城館が併み、山々には忍者たちが修練の場とした山伏の行場があり、村々に祀られた鎮守の社は忍者たちが結集した合議の場として残っているなど、忍者の真の姿を感じることができます。

自転車に乗って忍びの里的構成文化財や街並みを巡り、今に残る忍者の面影を探してください。

周辺交通図



全体地図



伊賀・甲賀 二大忍者の里往来

桜と紅葉の名所も。伊賀と甲賀、2つの忍びの里を巡る快走コース

距離：64.2km
所要時間：5 時間 10 分
獲得標高：700m
レベル：中級
※所要時間には休憩や見学時間は含みません、時間は自走で個人差があります。



二大忍者の里、伊賀と甲賀の見所を巡る全長 64km、獲得標高 700m ほどのコース。スタート＆ゴールは道の駅あやま。集落を通る交通量が少なめの道を抜け、まずは柏野城跡へ。さらに川沿いに桜並木を見ながら春日神社の鎮まる壬生野へ。このあたりは中世城館群が多く残っている。序盤の山間・コリドールロードはこのコース随一の難所でアップダウンが続く。徳川家康が伊賀越えの際に立ち寄った徳永寺を過ぎると再び長い上りが待ち構えている。下って甲賀市内に入ると、往事の地侍にまつわる史跡である和田城や和田公方屋敷跡、甲賀流忍者屋敷、新宮神社表門の桜並木など見所が続く。甲南町には秋に紅葉が楽しめるポイントが点在し、特に息障寺手前の池沿いの紅葉が見事だ。最後には道の駅あやまへの登りが待っている。



凡例

区間距離	1.2	信号
低	高	坂道
信号	信号なし	ややきつい
信号	信号なし	きつい
信号	信号なし	かなりきつい
信号	信号なし	立ち寄りスポット
信号	信号なし	日本遺産構成文化財
信号	信号なし	自転車店
信号	信号なし	注意するところ
信号	信号なし	トイレ
信号	信号なし	観光案内所
信号	信号なし	キャンプ場
標高 (m)	800	信号
標高 (m)	700	県境
標高 (m)	600	市町境
標高 (m)	500	標高 (m)
標高 (m)	400	800
標高 (m)	300	700
標高 (m)	200	600
標高 (m)	100	500
標高 (m)	0	400

数値地図（国土基本情報、国土基本情報 20万）を加工して作成



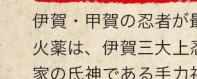
道の駅 あやま

自然豊かな山の傾斜をイメージした屋根と自然に溶け込むグリーンカラーが特徴的。館内では、伊賀米や伊賀肉、伊賀焼、伊賀みひものなど、特産・名産品や地元でとれた野菜などが販売されており、「そば打ち体験」ができる施設もある。



柏野城跡

柏野城跡は、東西約 100m、南北約 70m の規模で、東・西・南の三方に土塁が巡る。主郭の西側には堀切を設けて尾根を遮断し、東側には郭を設けて防御を固めている。この城跡は、天正伊賀の乱で近在の土豪が立て築いた城としても知られていて、市の史跡に指定されている。



手力神社

伊賀・甲賀の忍者が最も得意とした火薬は、伊賀三大上忍の一つ、藤林家の氏神である手力神社で打ち上げる花火にその面影がみられる。



藤林長門守墓所

伊賀流忍者の大家であった藤林長門守一族の墓所で 25 基の墓碑が並ぶ。



柏野城跡

壬生野には中世城館群が多く分布し、戦国時代の景観が色濃く残る。その中心、春日神社は土豪たちの氏神であり、彼らは様々な祭礼行事を通じて結びを強めた。



春日神社

戦国時代の甲賀は地侍の城がひしめきあい連携して自治を行っていた。

一方、50m 程の方形の土壘で囲まれ、空堀を巡らせた土造りの城である。



甲賀流忍術屋敷

甲賀守氏の本家旧宅で、江戸時代元禄年間の建物と言われる。内部には抜け穴や隠し階段、どんどん返しなどのからくりが施されている。かつては製薬や売薬業も営まれていた。

また、甲賀市での観光情報やレストラン、交通機関、宿泊施設などの情報を提供する。



徳永寺

寺内において葵紋の瓦などの使用が江戸期から認められており、本能寺の変の後、堺にいた徳川家康が本国三河に帰還する「神君伊賀越え」の際に家康が立ち寄った証である。



徳永寺

村々の鎮守の社は忍者たちの合議の場であった。一族の結束は強く、「みんなで集まり、話し合いを決める」とこそ、これが忍者の里の「辯」だった。徳永寺は甲賀衆の一人、池田氏として信仰された神社。



岩尾山の杉（一本杉）

樹齢 1,000 年以上ともいわれる杉谷の一本杉。滋賀県指定自然記念物に指定されており地域住民にも親しまれている。映画や連続テレビ小説の撮影にも使用されている。秋には岩尾山の周りのコースで紅葉を楽しむ。

日本遺産構成文化財